

## 重点的調査観測の候補

※灰色は、調査観測実施済み又は実施中のものを表すとともに、各指標は選定当時の値を示す。

※オレンジ色/黄色は、現在未着手の調査観測対象活断層のうち、各指標で1番目/2番目に高い(平均活動間隔においては短い)ものを表す。

活断層名	震度6弱以上 罹災人口(万人)	地震後 経過率 (最大)	規模 (M)	30年発生確率 (最大) (%)	平均活動間隔 (年)	Slip rate (mm/y)	備考
屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯 (恵那山-猿投山北断層帯)	670	1.1	7.7	2	約7千2百-1 万4千年	0.2-0.4	
三浦半島断層群(主部/武山断層帯)	200	1.4	6.6	11	1千6百年-1 千9百年程度	0.5-2.8 (右横ずれ成分)	相模トラフの海溝型地震と同時 に活動する可能性
森本・富樫断層帯	100	1.2	7.2	8	1千7百-2千 2百年程度	概ね1 (上下成分)	H25年11月一部改訂
奈良盆地東縁断層帯	620	2.2	7.4	5	約5千年	約0.6 (上下成分)	H25補完調査実施 (R1-R3実施中)
富士川河口断層帯	170	ケースa:2より 大 ケースb:1.2	8	ケースa:18% ケースb:11%	ケースa:約150 -300年 ケースb:約1千3 百-1千6百年	約7 (上下成分)	駿河トラフで発生する海溝 型地震に伴って活動すると 推定 (H29-H31実施中)
布田川断層帯・日奈久断層帯	90	2.3	7.5	6	3千6百年-1 万1千年程度	0.7 m (右横ずれ成分), 0.2-0.5 m (上下成分)	重点的調査観測終了 H28-30
別府-万年山断層帯 (大分平野-由布院断層帯/東部)	70	1	7.2	4	約2千3百-3 千年	東部2-4 (上下成分)	重点的調査観測終了 H26-28
中央構造線断層帯 (金剛山地東縁-和泉山脈南縁)	970 (和泉山脈南 縁)	1.3 (和泉山脈南 縁)	7.7 (和泉山脈南 縁)	14 (和泉山脈南 縁)	約1千1百-2 千3百年	0.1-0.6 (上下成分)	重点的調査観測終了 H25-27
	500 (金剛山地東 縁)	1.0 (金剛山地東 縁)	6.9 (金剛山地東 縁)	5 (金剛山地東 縁)	約2千-1万4 千年	1.8-3.5 (右横ずれ成 分)	
立川断層帯	1,300	2	7.4	2	1万-1万5千 年程度	0.2-0.3 (上下成分)	重点的調査観測終了 H24-26
警固断層帯(南東部)	240	1.4	7.2	6	約3千1百-5 千5百年	南東部0.02 (上下成分)	重点的調査観測終了 H23-25
上町断層帯	1,120	2より大	7.5	3	8千年程度	約0.4 (上下成分)	重点的調査観測終了 H22-24
神縄・国府津-松田断層帯	310	1.1	7.5	16	約8百-1千3 百年	約2-3 (上下成分)	重点的調査観測終了 H21-23
糸魚川-静岡構造線断層帯	170	1.2	8	14			重点的調査観測 H17-21, H27



# ■三浦半島断層群 (主部／武山断層帯)

# ■森本・富樫断層帯

